

本校の学校経営管理計画には、

「楽しくて分かりやすい授業の創造」の実現のための授業づくり（石部スタイル）

- i) 本時のねらい（＝到達目標）を板書する
- ii) 考えを書く活動を必ず入れる
- iii) 児童の考えを座席表で類別把握する
- iv) 対話活動による考えの交流を取り入れる
- v) 単元の終わりには、出来るようになったことを自覚させる

が示されている。

そこで、道徳の学習においても、ねらいにせまる手立てとして、以下のことを考えた。

- ① ワークシート（ii 考えを書く活動）・・・自分の考えや思いを整理するために、ワークシートに書く。友達と同じ考えだと安心して、安易に友達と同じことを言ってしまう児童がいるので、発表する前に、自分の考えを書いておきたい。
- ② 少人数での聞き合い（iv 対話活動による考えの交流）・・・計算問題やひらがななどを読むというような答えが一つしかない問いには自信を持って答えられることが多い。しかし、自分の思いや考えを話すとなると、どのように言っているのかわからなかったり、自信がなくて発言することができなかったりすることがある。そこで、少人数での聞き合いの場を持ち、自分の近くにいる友達に自分の思いや考えを話したり、友達の思いや考えを聞いたりすることで、自分の考えも間違っていないんだ、そうか、そのように言えばよかったんだ、と自分の意見に自信を持たせたいと考えた。また、自分と同じ考えを聞いて安心するだけでなく、違う考えにもあることに気づかせたい。
- ③ 座席表の活用（iii 児童の考えを座席表で類別把握）・・・授業前に、今までの授業から自分の思いを書くことに困っているかどうかをチェックしておき、教師の支援に活用する。授業の中では、児童の思いを座席表に書き留め、全体交流の話し合いに活かしたい。さらに、授業後は、児童の変容を見取るためにも活用する。

3 学習の展開

	学習活動と主な発問 (○主な発問、◎中心発問)	児童の発言	教師の支援と評価
導入	1 親切にされた経験を発表する。 ○困っているときにやさしくしてもらったことはありますか。どんなことですか。	・色鉛筆をなくしたとき、さがしてもらえた。 ・色鉛筆をかしてくれました。	・意見が出なかった時は、学級での出来事を紹介する。
展開 前段	2 資料「いしけり」を聞いて、話し合う。 ○小さな女の子がけいこのほうを見て、いしけりのまねを始めたのを見たけいこはどんなことを思いましたか。	・一緒に遊ぼうかな。 ・一緒にいしけりしたいのかな。 ・誘ってみようかな。 ・一緒に遊んでくれるかな。	・場面を想起しやすいように、読み聞かせで使った場面絵を掲示する。

	◎けいこはどんなことを思っ て「いっしょにあそぼう。」 と言ったのでしょうか。 ○女の子がうれしそうに石け りをしているのを見たけい こはどんなことを思ったで しょう。	・一緒に遊んであげよう。 ・一緒に遊びたいから誘っ た。 ・知らない子だから、緊張 してた。はずかしかった。 ・小さい子と遊ぶのが慣れ ていないから、恥ずかし い。 ・女の子が遊ぶかわからな いから、声をかけようか 迷った。 ・女の子は石けりがじょう ずだな。 ・私より上手だな。 ・女の子がよろこんでい るから、私もうれしい。 ・女の子のお母さんも笑 顔だし、うれしいな。 ・もっと上手くなってま た遊ぼうね。 ・けいこさんも楽しかつ たと思う。	・少し迷っているけいこ の気持ちを考えるため に、すぐには声が出な かったことを押さえる。 ・親切にした後の気持ち をとらえるために、女 の子の様子を強調する。 また、女の子のお母さ んの様子も再度紹介す る。 ・自分の考えを持ち、発 表しやすくするために、 ワークシートに書いて から、少人数での聞き 合いの時間を取る。 * けいこの、親切にした 後のすがすがしい気持 ちに気づいたか。(ワー クシート・発表)
展 開 後段	3 自分たちの生活をふり返 る。 ○小さい子が困っている時、 どうしましたか。また、そ の後、どんな気持ちでした か。	・年長の時、妹が痛そうに していたので、大丈夫？ と声をかけた。かわい そうだと思った。 ・小さな子と遊んでいてこ けたので、やさしくし てあげた。うれしかつ た。	・園で年長だった昨年や、 妹や弟がいる児童につ いては、きょうだいと の関わりを思い起こす ように促す。
終末	4 教師の説話を聞く。		